

自分を探して

中札内中学校 一年 林 理愛菜

自分の「嫌い」という感情が嫌だった。そ
う思うなら伝えればいいのにと思いつつ、偽
りの仮面をかぶったままの自分が大嫌いだっ
た。でも今思えば、自分の「本当」を隠して
自分が傷つかないようにしていただけだった。
でも、人間なのだから、そういういった感情・欠
点があることも当然だ。「嫌い」だからと言
ってずっと避けていくことはできない。だか
ら、嫌いといった感情と向き合って、良い部
分について考えよりよい対処法を探し、どう
やったら自分がその物事に対して、前向きに
考えて行動できるのか自分自身をよく知る機
会を設けることが必要なのだ。自分の欠点に
気づき向き合っていこうとするなら変わるこ
とができる。人間はだれしも完璧でないから
こそお互いに補い合い協力するのだ。人はど
のような望みを抱くのかによって変わってい

くのだと思う。私は、自分の人生を生きていく中で得た、自分はどうなりたいと、こう生きてきていきたいという望みが人を変えていくのだと思う。私は、誠実に生きたい。周囲がどうであれ自分は自分が正しいと思うことを貫きたい。偽善者だと思われかもしれない。確かにその通りだ。でも、完璧になれない人間が自分のより高い望みのために正しい行いをすること偽善者なら大歓迎だ！でも、不完全な私だからこそ誰かの気持ちに寄り添うこと、誰かの気持ちのごみ箱になることができるのだ。完璧な人だったらうまく立ち回って解決させてしまいうのかもしれない。時に何もしてあげられないことに葛藤を覚えることがある。でもね、実際に基準にすべきなのは「私」がしてあげたいこと「じゃなくて相手が「してほしいこと」なのだ。解決させてしまおう。間違った道を選ばないように気を付けて。間違ってほしいと思っっているならそうするの

いても結局は人間なのだから、過ちを犯す時
がある。そんなとき、自分に落胆している暇
なんてない。自分のしてしまったことを悔や
み、過ちにきちんと向き合っていかなければ
いけない。自分の行いを悔やむということは
地味に見えて、とても大切だ。感情の伴わな
い謝罪が無意味なように、自分の行いを悔や
む気持がなければ、気持の伴わない行動は意
味をなさない。この社会が黒・白はつきりし
ていたらどんなに良かったか。この世界は本
当に難しい。私の望みに続く道がどんな道な
のか、私の道がどんな望みにつながっている
のか。日々考えながら歩んでいくのだろう。
何が正しいのか。何が最善かわからない世の
中だからこれからも私は悩み、考え、私を生
きていく。正しい道を探して、あなたはどん
な望みを抱きますか。